

第261回, 第263回 広島数理解析セミナー (2022年度)

Hiroshima Mathematical Analysis Seminar No.261 & No.263

日時 : 1月6日 (金) 15:00~17:30

場所 : 対面 (広島大学理学部 E104) およびオンライン (Microsoft Teams) のハイブリッド開催

今回は2件の講演です.

15:00~16:00

講師 : 富岡 健太 氏 (早稲田大学)

題目 : シュレディンガー・改良ブシネスク系の初期値問題の適切性と改良/分散消滅極限について

要旨 : 本講演では空間2次元の一般領域上のシュレディンガー・改良ブシネスク系 (S-iB) に対する初期値問題の適切性と改良/分散消滅極限について考える. 一般領域上ではフーリエ変換の議論 (特にストリックーツ評価) などを用いることが困難であるため初期値問題の適切性の結果は多くない. そこで, (S-iB) の初期値問題の適切性について修正エネルギーの方法を用いて証明する. さらに, (S-iB) にパラメーターを導入して, その極限について考える改良/分散消滅極限の問題について紹介する. 本講演は小澤徹教授 (早稲田大学) との共同研究に基づく.

(第261回 (12月2日) の延期分です)

16:30~17:30

講師 : 岡本 葵 氏 (大阪大学)

題目 : 2 次の非線形項をもつ非線形 Klein-Gordon 方程式のほとんど確実な大域的適切性

要旨 : 空間 3 次元トラスにて, 2 次の非線形項をもつ非線形 Klein-Gordon 方程式の初期値問題を考える. 対応するエネルギーにおける非線形項は正定値ではないため, 一般化大正準モデルを考え, 適当な繰り込みを行うことで, Gibbs 測度を構成する. また, 繰り込みを行ったエネルギーに対応する非線形 Klein-Gordon 方程式の初期値問題がほとんど確実に時間大域的な解をもつことを述べる. なお, 本講演の内容は, Tadahiro Oh 氏 (Univ. of Edinburgh), Leonardo Tolomeo 氏 (Univ. of Edinburgh) との共同研究に基づく.

本セミナーに参加ご希望の方は, 広島数理解析セミナーのホームページ

<http://www.math.sci.hiroshima-u.ac.jp/ca/seminar.html>

にあるフォームからお申し込み下さい. オンライン参加ご希望の方には, セミナー当日の 14:00 までに Microsoft Teams 会議用の URL をご登録のメールアドレスにお送りします.

広島数理解析セミナー幹事

川下 美潮 (広大先進理工・理)	kawasita@hiroshima-u.ac.jp
川下和日子 (広大先進理工・工)	wakawa@hiroshima-u.ac.jp
佐野めぐみ (広大先進理工・工)	smegumi@hiroshima-u.ac.jp
柴田徹太郎 (広大先進理工・工)	tshibata@hiroshima-u.ac.jp
★滝本 和広 (広大先進理工・理)	ktakimoto@hiroshima-u.ac.jp
内藤 雄基 (広大先進理工・理)	yunaito@hiroshima-u.ac.jp
橋詰 雅斗 (広大先進理工・理)	mhashizume@hiroshima-u.ac.jp
水町 徹 (広大先進理工・総科)	tetsum@hiroshima-u.ac.jp
若杉 勇太 (広大先進理工・工)	wakasugi@hiroshima-u.ac.jp

★印は本セミナーの責任者です.